

最終アウトカム(住民のあるべき姿)

地域とつながりをもちながら、住民が望む人生を送ることができる

【看取り】 本人が望む看取りを、地域で実現する体制を整える

1. 本人の看取りの意志を関係者で共有できる
2. 看取りの体制に関する課題を共有し、解決策を見出す
3. 住民が看取りについて理解を深める

1. 看取り研修会の開催

目的:ケア関係者が、本人の生きるを支える「思い」を聞くコミュニケーション技術を身に着ける

テーマ:胎内市エンドオブライフケア研修会 Part1

～地域とのつながりをもちながら、住民が望む人生のために～

日程:11月24日(水)午後6時～8時30分 150分(予定)

対象:胎内市内の医療介護事業所の従事者

在宅医療介護連携ロジックモデルワーキングメンバー

講師:エンドオブライフケア協会代表

神奈川県横浜市 めぐみ在宅クリニック院長 小沢竹俊氏

2. 各事業所における看取り体制のヒアリング

目的:看取り期に関わる関係者・関係機関が抱えている課題を拾い、センターと顔の見える関係をつくることことができる。

日程:令和3年8月から 1か月に2事業所程度

対象:市内の介護保険事業所のうち、夜間宿泊するサービス(小規模多機能型居宅介護、ショートステイ)10～11事業所

内容:顔の見える関係を作るために、事業所に出向きインタビューを行う

しばた地域在宅医療介護連携センター 平野、胎内市地域包括支援センターみらい 佐久間の2人で事業所へ訪問